

2020 年度実績・2021 年度計画（宇宙関連事業）

1. 地方創生に関わる計画策定

1. 肝付町地域創生戦略について

令和2年3月、地方創生を戦略的に進めるための2020年度から2024年までの5年間の期間とした「第2期～まち・ひと・しごと創生～肝付町地域創生戦略」を策定した。

＜基本目標＞

1. 肝付町にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 肝付町への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

2. 地域再生計画について

ロケット射場がある町の優位性を活かした地方創生に向け、国交付金・応援税制を活用するため、3年間の期間とした地域再生計画を策定した。

＜地域再生計画＞

1. 「宇宙乃浦」創生プロジェクト（2020.3.30～2023.3.31）
【地方創生推進交付金活用事業】
2. 「スペースサイエスタウン構想」実現プロジェクト（2020.3.31～2023.3.31）
【応援税制適用事業】

※ 「宇宙乃浦」創生プロジェクトと「スペースサイエスタウン構想」実現プロジェクトの内容は同じであるが、異なる制度を活用するため名称を区別しています。

3. 肝付町地域創生戦略と地域再生計画の位置づけについて

上記計画は、戦略に位置づけた以下の目標等に基づいたものである。

基本目標1. 肝付町にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- └─ 施策方針3. 「多様な人々が働くしごと」の推進
 - └─ 施策目標（1）「宇宙への入口 肝付町」のPRによる雇用創出

基本目標2. 肝付町への新しいひとの流れをつくる

- └─ 施策方針1. 魅力あるまち資源の活用及び整備からひとの流れにつなげる
 - └─ 施策目標（1）多様な組織との協働や交流を通じたにぎわいの創出

2. 2020 年度実績（「宇宙乃浦」創生・「スペースサイエンスタウン構想」実現プロジェクト）

1. 事業内容について

（1）次期「アクションプラン」の策定

現行のアクションプラン「肝付町宇宙開発促進アクションプラン」を検証更新し、次期アクションプランとして「宇宙乃浦創生アクションプラン2021」を策定した。

※ 「宇宙乃浦創生アクションプラン2021」は添付資料

（2）宇宙関連産業に資する「研究」及び「人材育成」のフィールドとしての魅力向上

大学の宇宙関連学科・研究室等に対し意向調査（アンケート）を実施し、「宇宙事業に関わる大学の取組みの状況」や「今後の意向」を把握した。

そして、調査結果に基づき、「アクションプランでの取組み」と「大学の取組み」が連携し、より効果的なものとなる可能性を内之浦射場活用研究会で検討した。

また、内之浦射場活用研究会員のネットワークを活用し、内之浦射場を活用した研究等を行う意向のある大学研究者等に対し、誘致に向けた協議を行った。

【訪問先】鹿児島大学、久留米工業大学、UNISEC、信州大学、千葉工業大学、JAXA 教授
東京大学、宇宙教育施設「TenQ」など 27 回調査

（3）産学官金連携による宇宙関連産業の振興

宇宙関連企業に対し意向調査（アンケート）を実施し、「宇宙開発に向けた企業活動の状況」や「今後の意向」を把握した。

そして、調査結果に基づき、「アクションプランでの取組み」と「企業の取組み」が連携し、より効果的な取組みとなる可能性を内之浦射場活用研究会で検討した。

また、内之浦射場活用研究会員のネットワークを活用し、内之浦射場を活用した研究等を行う意向のある民間企業に対し、誘致に向けた協議を行った。

【訪問先】住友商事、QPS 研究所、九州経済連合会、りそな総合研究所、九州経済産業局
キャノン電子、日本カーリット、IHI エアロスペース、三井物産など 21 回調査

（4）宇宙関連資源を活用した観光振興

コロナ禍において、観光産業においても新たなビジネスモデルへの変容が進むなか、各自治体では県内最大の市場である鹿児島市をターゲットとした「マイクロツーリズム」の誘致を推進しているところである。

そのため、鹿児島市内の商業施設「よかど鹿児島」において、肝付町の「アンテナショップ」を期間限定（9/4～12 月末）で開店、併せて鹿児島大学（片野田拓洋ゼミ）と連携し、宇宙をテーマとした情報発信ブースやイベント開催により、鹿児島市民を中心に「宇宙」をテーマとしたタウンプロモーションを実施した。

2. 予算について

歳出（委託料） 31,900,000 円

歳入（国交付金） 15,950,000 円（補助率 1 / 2）

（企業版ふるさと納税） 15,950,000 円（見込み）

【内訳】 株式会社鹿児島銀行 10,000,000 円

九州発電株式会社 3,950,000 円

グリーンシティこばやし株式会社 2,000,000 円

3. 重要業績評価指標（KPI）について

KPI①	町内観光入込客数				単位	万人
KPI②	「研究及び人材育成のフィールドとしての活用」及び「サテライトキャンパス・オフィスの誘致」に向けた大学や宇宙関連企業等との交渉団体数				単位	団体
KPI③	大学等の特別講義（射場へ来訪する研究者、JAXA職員等による講師）や研究の誘致団体数				単位	団体
KPI④	サテライトキャンパス、サテライトオフィスの誘致団体数				単位	団体
	事業開始前 （現時点）	2020 年度増加 分（1 年目）	2021 年度増加 分（2 年目）	2022 年度増加 分（3 年目）	KPI 増加分の 累計	
KPI①	40.00	4.00	3.00	3.00	10.00	
実績(見込)		(▲26.25)	(3.00)	(3.00)	(▲20.25)	
KPI②	0.00	6.00	3.00	2.00	11.00	
実績(見込)		10.00	(3.00)	(2.00)	(15.00)	
KPI③	0.00	0.00	1.00	2.00	3.00	
実績(見込)		0.00	(1.00)	(2.00)	(3.00)	
KPI④	0.00	0.00	0.00	2.00	2.00	
実績(見込)		0.00	(0.00)	(2.00)	(2.00)	
KPI 未達成理由	KPI①については、コロナ禍の影響もあり「目標未達」であった					

3. 2021 年度計画案(「宇宙乃浦」創生・「スペースサイエンスタウン構想」実現プロジェクト)

1. 事業内容について

- (1) 次期「アクションプラン」の策定
(2020 年度に策定済)
- (2) 宇宙関連産業に資する「研究」及び「人材育成」のフィールドとしての魅力向上
 - i 大学や研究機関等へのニーズ及び意向調査（ヒアリング調査）
 - ii 意向を有する先へのアプローチ
 - iii フィールドとしての魅力を伝えるPR活動の実施
 - iv 見込み先への具体的交渉
 - v 大学等の特別講義や研究（実験）等の試行 等
- (3) 産学官金連携による宇宙関連産業の振興
 - i 宇宙関連企業等へのニーズ及び意向調査（ヒアリング調査）
 - ii 意向を有する先へのアプローチ
 - iii 見込み先への具体的交渉 等
- (4) 宇宙関連資源を活用した観光振興
 - i 小中高生を対象とした宇宙をテーマとするイベントの開催
(宇宙を学ぶ教室の開講 等)
 - ii イベント開催等に伴う宇宙をテーマとした観光のPR活動 等
- (5) 本事業の発展的展開に向けた環境整備に関する調査【2021 年度追加新規事業】
 - i 必要な環境整備に関する調査、分析（費用試算等）
 - ii 地元体制強化及び町外組織との連携に関する検討、実施

2. 予算について

歳出（委託料）	33,100,000 円
歳入（国交付金）	16,550,000 円（補助率 1 / 2）
（企業版ふるさと納税）	10,000,000 円 株式会社鹿児島銀行

3. 重要業績評価指標（KPI）について

KPI①	町内観光入込客数				単位	万人
KPI②	「研究及び人材育成のフィールドとしての活用」及び「サテライトキャンパス・オフィスの誘致」に向けた大学や宇宙関連企業等との交渉団体数				単位	団体
KPI③	大学等の特別講義（射場へ来訪する研究者、JAXA職員等による講師）や研究の誘致団体数				単位	団体
KPI④	サテライトキャンパス、サテライトオフィスの誘致団体数				単位	団体
	事業開始前 （現時点）	2020 年度増加 分（1年目）	2021 年度増加 分（2年目）	2022 年度増加 分（3年目）	KPI 増加分の 累計	
KPI①	40.00	4.00	3.00	3.00	10.00	
実績(見込)		(▲26.25)	(3.00)	(3.00)	(▲20.25)	
KPI②	0.00	6.00	5.00	3.00	14.00	
実績(見込)		10.00	(5.00)	(3.00)	(18.00)	
KPI③	0.00	0.00	2.00	3.00	5.00	
実績(見込)		0.00	(2.00)	(3.00)	(5.00)	
KPI④	0.00	0.00	0.00	2.00	2.00	
実績(見込)		0.00	(0.00)	(2.00)	(2.00)	
KPI 修正内容	※ 2021年度事業に「（5）本事業の発展的展開に向けた環境整備に関する調査」を追加したことにより、当初計画のKPI②・③を上方修正予定。					